

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績 (2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	17,235	8.8	1,200	△7.7	1,069	101.0	836	203.3
2025年12月期第1四半期	15,842	18.0	1,301	74.1	532	△60.3	275	△72.4

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 1,618百万円(-%) 2025年12月期第1四半期 △360百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年12月期第1四半期	円 銭 17.71	円 銭 —
2025年12月期第1四半期	5.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	139,544	39,890	26.7
2025年12月期	140,138	39,792	26.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 37,299百万円 2025年12月期 37,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,090	9.9	3,690	△4.7	3,044	31.6	2,092	△52.3	44.40
通期	77,797	6.4	10,095	5.8	8,814	17.6	6,014	26.1	127.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	48,960,000株	2025年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	1,916,234株	2025年12月期	1,613,534株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	47,236,233株	2025年12月期1Q	47,527,133株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当社は2026年2月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式取得を考慮して記載しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11
3. 補足情報	11
(施行及び受注の状況)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や個人消費の持ち直し、また、雇用情勢に改善の動きがみられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、国内企業物価及び消費者物価の上昇並びに中東情勢の影響など、先行きについては不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場及びウェルネス&リラクゼーション（W&R）市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組み、多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

ホテル事業においては、訪日外国人数が2026年3月推計値で累計10百万人（前年同四半期比1.4%増：日本政府観光局「訪日外客数(2026年3月推計値)」）と過去最高を更新するなど、中国政府による渡航制限や中東情勢の影響などネガティブ要素もありながら、引き続き高い水準で推移しております。この影響から「ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ」（東京都港区）、「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」（東京都品川区）及び「キンプトン 新宿東京」（東京都新宿区）の国内ラグジュアリーホテルは引き続き安定した状況で推移いたしました。また、米国に開業しておりますホテル3施設につきましては、更なるレベニューマネジメント及びコストコントロールを実施し収益力向上に努めました。

婚礼事業においては、施行件数1,796件（同11.4%減）、受注件数2,558件（同7.4%減）と店舗閉鎖及び大規模改修による休館により減少となりましたが、施行単価においては引き続き緩やかに回復いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、17,235百万円（同8.8%増）となり、利益面につきましては、営業利益1,200百万円（同7.7%減）、営業外費用において前年同四半期に計上いたしました為替差損560百万円が当期においては為替差益140百万円となり、経常利益は1,069百万円（同101.0%増）及び親会社株主に帰属する四半期純利益は836百万円（同203.3%増）となりました。

（連結損益計算書）

	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高(百万円)	15,842	17,235	1,393	8.8%
営業利益(百万円)	1,301	1,200	△100	△7.7%
経常利益(百万円)	532	1,069	537	101.0%
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	275	836	560	203.3%
1株当たり当期純利益(円)	5.80	17.71	11.91	205.3%

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第1四半期連結累計期間においては、婚礼施行単価については引き続き緩やかに回復しておりますが、店舗閉鎖及び大規模改修による休館等により婚礼施行件数が1,796件（同11.4%減）と減少したことから売上高は減少いたしました。利益面においては、施行件数の減少、また、エネルギーコスト及び原材料価格の上昇等の影響により減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は8,099百万円（同3.7%減）、セグメント利益は805百万円（同17.8%減）となりました。

② ホテル事業

当第1四半期連結累計期間においては、ホテル婚礼施行件数が370件（同1.1%減）と微減となりましたが、昨年取得した「W Hotel Dallas Victory」（米国テキサス州）及び「ANAホリデイ・イン東京ベイ」（東京都品川区）の売上寄与、また、「ホテル インターコンチネンタル 東京ベイ」（東京都港区）をはじめとする国内ラグジュアリーホテルにおいては、過去最高を記録した訪日外国人数の影響から宿泊稼働率及び宿泊単価が堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は8,405百万円（同25.5%増）、セグメント利益は947百万円（同21.2%増）となりました。

③ W&R事業

当第1四半期連結累計期間においては、複合温浴施設「美楽温泉SPA-HERBS」における来館者数及び飲食売上高が堅調に推移しましたが、依然厳しい事業環境が続く英国式リフレクソロジーサロン「クイーンズウェイ」の影響により売上高及びセグメント利益は微減となりました。

この結果、当セグメントの売上高は731百万円（同0.7%減）、セグメント利益は53百万円（同3.0%減）となりました。

(セグメントの状況)

(百万円)

	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	15,842	17,235	1,393	8.8%
婚礼事業	8,410	8,099	△310	△3.7%
ホテル事業	6,695	8,405	1,709	25.5%
W&R事業	736	731	△5	△0.7%
セグメント利益	1,301	1,200	△100	△7.7%
婚礼事業	980	805	△174	△17.8%
ホテル事業	782	947	165	21.2%
W&R事業	54	53	△1	△3.0%
全社費用他	△515	△605	△90	—

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ593百万円減少して、139,544百万円となりました。これは主に、土地取得により土地が1,590百万円及び建設仮勘定が858百万円それぞれ増加いたしましたが、上記有形固定資産の取得及び納税により現金及び預金が3,383百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ691百万円減少して、99,653百万円となりました。これは主に、前受金が805百万円増加しましたが、返済により長期借入金（1年内含む）が235百万円及び未払法人税等が836百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ97百万円増加して、39,890百万円となりました。これは主に、資本剰余金が634百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が641百万円及び利益剰余金が124百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(連結貸借対照表)

(百万円)

	2025年12月期	2026年12月期 第1四半期	増減額	増減率
資産合計	140,138	139,544	△593	△0.4%
流動資産	34,150	30,768	△3,381	△9.9%
固定資産	105,766	108,565	2,799	2.6%
繰延資産	221	210	△10	△4.9%
負債合計	100,345	99,653	△691	△0.7%
流動負債	24,695	22,299	△2,396	△9.7%
固定負債	75,649	77,354	1,704	2.3%
純資産合計	39,792	39,890	97	0.2%

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月10日付け「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,991	24,608
売掛金	2,745	2,386
商品	173	181
原材料及び貯蔵品	565	578
その他	2,714	3,052
貸倒引当金	△40	△39
流動資産合計	34,150	30,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,999	56,129
土地	29,711	31,301
建設仮勘定	1,010	1,869
その他（純額）	2,706	2,796
有形固定資産合計	89,428	92,097
無形固定資産		
のれん	523	477
その他	807	834
無形固定資産合計	1,330	1,311
投資その他の資産		
投資有価証券	1,432	1,458
関係会社出資金	1,153	1,227
敷金及び保証金	6,907	6,825
その他	5,655	5,787
貸倒引当金	△140	△143
投資その他の資産合計	15,007	15,156
固定資産合計	105,766	108,565
繰延資産	221	210
資産合計	140,138	139,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,510	2,363
1年内返済予定の長期借入金	10,915	8,999
1年内償還予定の社債	753	753
未払法人税等	1,235	399
前受金	3,928	4,733
その他	5,351	5,049
流動負債合計	24,695	22,299
固定負債		
社債	7,706	7,606
長期借入金	58,346	60,027
退職給付に係る負債	443	446
役員退職慰労引当金	1,096	1,107
資産除去債務	4,594	4,601
その他	3,463	3,566
固定負債合計	75,649	77,354
負債合計	100,345	99,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	-
利益剰余金	35,262	35,386
自己株式	△1,092	△1,292
株主資本合計	35,276	34,565
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	820	976
為替換算調整勘定	1,115	1,756
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	1,936	2,733
非支配株主持分	2,580	2,591
純資産合計	39,792	39,890
負債純資産合計	140,138	139,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	15,842	17,235
売上原価	9,668	10,480
売上総利益	6,173	6,755
販売費及び一般管理費	4,872	5,554
営業利益	1,301	1,200
営業外収益		
受取利息	29	45
匿名組合投資利益	74	74
為替差益	-	140
その他	177	26
営業外収益合計	281	287
営業外費用		
支払利息	258	402
為替差損	560	-
その他	232	16
営業外費用合計	1,050	418
経常利益	532	1,069
特別利益		
受取補償金	-	124
特別利益合計	-	124
特別損失		
固定資産除却損	1	11
店舗閉鎖損失引当金繰入額	89	-
その他	-	0
特別損失合計	91	11
税金等調整前四半期純利益	440	1,183
法人税等	202	417
四半期純利益	238	765
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	△71
親会社株主に帰属する四半期純利益	275	836

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	238	765
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	161	156
為替換算調整勘定	△760	697
退職給付に係る調整額	△0	-
その他の包括利益合計	△598	853
四半期包括利益	△360	1,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△229	1,634
非支配株主に係る四半期包括利益	△131	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	865百万円	1,125百万円
のれんの償却額	66	46

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	8,384	6,695	736	15,817	—	15,817
その他の収益	25	—	—	25	—	25
外部顧客への売上高	8,410	6,695	736	15,842	—	15,842
セグメント間の 内部売上高又は振替高	274	217	2	493	△493	—
計	8,684	6,912	738	16,336	△493	15,842
セグメント利益	980	782	54	1,817	△515	1,301

(注) 1. セグメント利益の調整額△515百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△528百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	8,052	8,405	731	17,188	—	17,188
その他の収益	47	—	—	47	—	47
外部顧客への売上高	8,099	8,405	731	17,235	—	17,235
セグメント間の 内部売上高又は振替高	530	212	2	744	△744	—
計	8,629	8,617	733	17,980	△744	17,235
セグメント利益	805	947	53	1,806	△605	1,200

(注) 1. セグメント利益の調整額△605百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△616百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)	前連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	2,028	1,796	9,387
ホテル事業	374	370	1,612
合計	2,402	2,166	10,999

(2) 婚礼受注状況

期別	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)		前連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
婚礼事業	2,761	6,907	2,558	6,429	8,880	5,667
ホテル事業	455	1,265	448	1,307	1,657	1,229
合計	3,216	8,172	3,006	7,736	10,537	6,896